

<児童発達支援事業> 令和4年度 自己評価の結果（公表）

公表 令和5年2月24日
美瑛町子ども支援センター

この「自己評価の結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

対象者 6名

		チェック項目	はい	いいえ	課題点、工夫している点	改善内容・改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6	0	・割り当てて使用しているが、適切でない時もある。	・事前の調整や指導内容を工夫する。
	2	職員の数や専門性は適切である	2	4	・配置は適切であるが、専門性や指導を充実を図るためには負担を抱えているスタッフがいるように思う。 ・事務員と指導員が必要だと思う。	・業務整理を行い、仕事量の負担感を軽減できるように検討していきたい。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっている。設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている	5	1	・玄関のチャイムが不便。	・利用者にとって使いやすい環境や整備を維持できるように努めます。安全を保障するためにも、施設が必要であるため、より良い方法を模索する。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。子ども達の活動に合わせた空間になっている	6	0	・効率よく動けるように工夫が必要。 ・狭いながらも工夫していると思う。	・支援後の掃除や消毒等代替スタッフ等の協力を得ている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	5	1	・必要は感じているが、余裕がなく難しい。	・必要に応じて話し合いの時間を設け、スタッフ間で共有できるように改善していく。
	6	保護者等に向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し業務改善につなげている。	6	0		・今後も継続して取り組む。
	7	自己評価及び保護者評価の結果を踏まえ、事業所としての評価を行い、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0		・保護者配布、施設内掲示、ホームページにも掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	無回答 2	・利用児のご家族や外部連携機関の方の意見を業務の改善につなげています。	・今後も利用されているご家族や外務の評価に耳を傾けて、スタッフ内で共有できるようにしていく。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している。	5	1	・余裕がありません。	・今後も職員研修等資質の向上に努めていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で支援計画を作成している	6	0	・専門職による意見も取り入れた計画になっている	・今後も継続して取り組む。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・簡易発達検査を用いたり、発達検査等の客観的なデータを用いながらアセスメントを行っている	・今後も継続して取り組む。
	12	支援計画には「発達支援・家族支援・地域支援」という観点や内容から適切に項目が選択され、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・意識してに取り組んでいる。	・今後も継続して取り組む。
	13	支援計画に沿った支援が行われている。	6	0		・今後も継続して取り組む。
	14	活動プログラム立案をチームで行っている	6	0	・余裕があれば、打ち合わせがよりよく行えると思います。業務量が多く、時間が取れない	・業務の改善を行い、打ち合わせ時間を確保し、スタッフ間で共有できるように改善していく。
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫している	6	0	・子どもの発達の状況に応じ、今後も工夫が必要	
	16	子どもの状況に応じて個人活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成している。	6	0	・目標や内容に応じて集団を工夫している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・もう少し時間を取れるようにしていきたい ・打ち合わせが不足していると感じる	・今後は指導時間のリーダーを決める等して意識的に取り組んでいく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6	0	・その都度共有していくが必要だと感じているが、終了後すぐにできないことが多い(2) なるべく時間を作るようにしている	・次回の指導に繋がるように評価、反省を共有する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・記録の視点等の共有を図る	・より効率化できるように工夫していく
20	定期的モニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・ケース会議等で行っている	・今後も継続していく	
	21	障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・常時関係機関との連携を図っている	・今後も現在の社会状況や地域でのニーズの添えるように連携を深める
	23	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・常時関係機関との連携を図っている	・今後も継続していく

関係機関や保護者との連携	24	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・ケース会議や療育支援会議等で情報共有している	・今後も継続していく
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・道立専門支援事業や巡回支援事業等で助言を得ている ・職員研修や交流の機会があるといい	・研修機会を増やし、専門性を高めていく
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、障害のない子どもと活動する機会がある	5	1		・幼稚園、保育園で実施している子育て支援事業に親子と一緒に参加した例もある。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	・コーディネーター会議、要対協等に参加している	・積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・保護者と情報や意見交換を行い共通理解を図っている	・丁寧な対応を継続していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等の支援を行っている	5	1	・日ごろからの対話や面談記録等で振り返りができるようにしている	・保護者の主訴に対して適切な情報提供ができるように職員の専門性を高める。
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		・丁寧な対応を心掛けていく。
	31	児童発達支援のねらいや支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ている	6	0	・丁寧な説明に努めている	・今後も丁寧な対応を心掛けていく。
	32	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっている	6	0	・相談内容によっては、他の職員にお願いし、助言や支援ができるようにしている。	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・参加できる保護者が少ない。	
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	6	0		
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	6	0	・定期的に発行し、季節や世相等配慮した内容をしている	
	36	個人情報の取り扱いには十分注意している。	6	0		・個人情報の取り扱いは、今後も細心の注意を払っていく
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	6	0		
38	行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	5	無回答 1	・年に1度講演会を実施している ・民生委員さんとの連携を図っている	・今年度はコロナ禍での家庭での過ごし方のアンケート調査を実施し、その結果を経て、ネットの利用方法、ルール作り等の大切さについて講演会を行った。その後も広報誌やおたよりなどで啓発に努める。今後もこのような活動を行っていく	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に発生を想定した訓練を実施している	6	0	・マニュアルを作成し、職員内で共有している	・年間計画に沿って、様々な想定での訓練を実施する
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年間計画を作成し、取り組んでいる	・今後は、保護者にも年間計画を周知し、指導時間内に訓練を実施する
	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・保護者から情報を得て、共通理解して取り組んでいる	・全体で共有していく
	43	ヒヤリハットの事例集を作成して事業所内で共有している	5	無回答 1	・年度初めに研修を行っている。事故が発生した場合には、職員全員で共有し、対応策を検討している	・今後も、全体で事故防止に努める
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	6	0	・研修会に参加し、資料回覧等もやっている	・今後も研修を行い、情報を共有していく
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画にきさいしている	5	1	・委員会を設置しています。対応の必要性がある場合については、保護者に説明し、同意を得た上で支援計画に記載しています。	・今後も研修を行い、情報を共有していく